
スマブラと5日間のサスペンス

ほーき雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラと5日間のサスペンス

【Nコード】

N6236X

【作者名】

ほーき雲

【あらすじ】

ある日、殺人事件が発生。そして犯人として疑われるスマブラメンバー。犯人は誰だ！？

スマブラメンバー疑われる！？（前書き）

さあ、スタートです。

スマブラメンバー疑われる！？

？月？日？時頃、？？？？？？？

？？？「何も言わない、お前は死ね。」

？？？「ぎゃああああー！！！！！！」

10月14日9時頃、戦場

ここでは、大乱闘が行われていた。戦っているのはネス、ソニック、リンク、ピットである。そして3人でピットをリンチしている・・・。

結果

1位ネス

2位ソニック

3位ピット

4位リンク

ちよつと待て、ピットはリンチされていたというのに最下位じゃないのか!?

ピット「リンクが間違えてソニックにライフオーススマッシュをくらわせちゃったからリンチのターゲットがリンクに変わったんだよ。あの時僕はもうストック1しかなかったんだからね。」

とか何だとか言いながら戦いの後の休憩をするスマブラメンバー。突如テレビからニュースが流れてきた。

アナウンサー「ニュースをお伝えします。昨日、ノルフェアで殺人事件が発生しました。殺害されたのはハンターと名乗る黒いスーツ姿の男性で、死亡推定時刻は昨日の18時頃ということです。」

アナウンサーに続いて警察の発表があった。

警察「今回の事件において、事件の発生場所が重要となっています。ノルフェアという場所は普通に考えれば人は入りません。しかし、スマブラメンバーはここで大乱闘をするのです。さらに、スマブラメンバーが昨日ノルフェアで大乱闘をしたという情報もあります。よって我々は、スマブラメンバーを重要参考人として調査します。」

こうしてスマブラメンバーは疑われたのです。

????「ふふふ、見つかったか。だけど絶対に捕まらないよ。」

犯人は一体誰だ！？

同日、10時30分、スマブラ広場

殺人事件の犯人としてスマブラメンバーの全員が疑われたという情報を聞いて、スマブラメンバーが全員広場に集まった。

メンバーたち「殺人事件で俺たちが疑われたってどういうことだよ！？」

そこへ警察が現れた。

警察「君達は殺人事件の容疑者として疑われている。それぞれの容疑が晴れるまでは、警察官の付き添いのもとに動くように！」

こうしてスマブラメンバー1人1人に警察官が5人ずつ付き添うようになった。

ソニック「なんでこんな目に……。犯人絶対許さねえ！」

リンク「ガノンは元々悪者なんだからそのまま捕まえて良くない？」

ガノンドロフ「良くない！」

サムス「しかし事件がノルフェアで発生したとはね……。何かありそうだ。」

ドクターマリオ「すみません、ちよつと質問なのですが、ノルフェアということはマグマによって死んだ可能性もあります。何故スマブラメンバーに目をつけたのですか？」

警察「すでに検死は行っています。焼死ではなく刃物で心臓を刺されたことによる心臓停止であるとわかりました。」

ネス「他殺ってことは明らかなんだね。」

ピット「ああ、昨日の朝はメンバー全員で逃走中やって楽しかったのに夕方に殺人事件が起こるなんて……。」

メタナイト「ふーん、1番最初に捕まってるのに楽しかったんだ。」
ピット「・・・・・・・・黙ってるよ。」
メタナイト「鎖引く順番1番だったのにいきなりハズレ引いちゃってさ。何が『白は俺の色だから大丈夫。』だよ。」
ピット「うるさい！そのことはもうしゃべるな！」
ピット以外は皆笑っていた。犯人として疑われているというのに・
・。なんて陽気なスマブラメンバーなんだ・・。

続く

スマブラメンバー疑われる！？（後書き）

これ以降、犯人だと思っスマブラメンバーのアンケートを実施します。是非ご回答ください。

1日目後半（前書き）

まずは手がかりを探す回。

1日目後半

スマブラメンバーの中に殺人犯がいる。しかし手がかりはまるで無い。どうすればいいのだ!?

マリオ「クッパ!犯人はお前だろ!?!」

クッパ「俺様はピーチ姫の誘拐はするが殺しはしないぞ!」

どちらでもいいと思うのだが・・・。

リユカ「(メンバーに疑われたらどうしよう・・・。。)」

ソニック「Why?なぜ死体は無事だったのかな?」

サムス「それさつき聞いた。マグマから身を守るためのカプセルの中にあったらしい。」

ソニック「We'll、大乱闘でも出てくるあれか・・・。」

デデデ「何か証拠は残ってなかったのか?」

デデデ担当1「証拠は燃え尽きたようだ。ノルフェアだから無理はない。」

サムス「カプセルの中・・・そうよ、カプセルの中よ!」

ゲームウォッチ「ドウシマシタ?さむすサン。」

サムス「もしかしたらカプセルの中に何か証拠があるかもしれないって思ったの。」

ピット「奇怪だ・・・。」

ロボット「ドウシマシタ?ぴっとサン。」

しゃべり方も言ってることもゲームウォッチと全然変わらないじゃないか。

ぴっと「なんでわざわざ死体をカプセルの中に入れたのかな?ってそのまま死体を燃やしちゃえば証拠隠滅になるのに・・・。。。。。。」

「……………つてそこはカタカナで書けよ！」

オリマー「ギャグ付きですけど言っていることはかなりまともですね。」

警察「おい、証拠を見つけたぞ！」

全員「どんなのですか？」

警察「これは1枚の紙だ。これは被害者が書いたものであることが筆跡鑑定からわかった。ここには『犯人はもう死んでいる』と書いてあった。何か意味があるのかもしれない。こちらで考えることにする。」

サムス「やっぱりそれはカプセルの中から見つかったのね。」

何も話すことがなくなってしまい、21時まで黙っていた全員。

そこへ先程謎の紙の分析をしていた警察たちがやってきた。

警察「スマブラメンバーに告ぐ。この中に抜けているメンバーがいたら報告してくれ。」

メタナイト「おいっ！よく見たらカービイがいないぞ！」

警察「なんだって！」

しばらく警察たちは黙りこみ、それからまた話し始めた。

警察「これより、カービイを特殊班により搜索する。生きて見つかるか、死んで見つかるかはわからないが、しばらくは、残りのメンバーについている警察官を解散させることにした。」

こうしてスマブラメンバーは暫定的に自由となり、警察はカービイの搜索を始めた。

しかし、疲れがたまっていたせいか、スマブラメンバー全員（もちろんカービイ除く）はここで寝てしまった。

「???」
（フツ、やっと自由か……。しかしまだみんなの近くにいるとするか……。ここで逃げたら指名手配は確定だからな……。）
「」

一体誰だ犯人！？

続く

1日目後半（後書き）

犯人だと思う人募集はずっとします。どんどんヒントが出ているのでもしかするとわかる人がいるかも？次回、自由になったメンバーと行方不明のカービィはどうなる！？

2日目午前編（前書き）

スマブラメンバーは自由となったが、カービィが行方不明。メンバーはある決心をする。

2日目午前編

マリオ「自由になれたのはいいが、厄介なことになったな。」

デデデ「カービイが行方不明……。警察はカービイを探している。カービイは犯人なのか？」

ネス「ねえ、警察より先にカービイを探してみない？そうすれば、逮捕される前にちゃんとカービイに問いただすことができるよ。」

ソニック「いいんじゃないのかい？」

リンク「とにかくカービイを見つけなきゃいけないようだな。」

メタナイト「みんなで探すか！」

ピット「よし、じゃあ今日の18時くらいにはここに全員集合。そしてカービイを見つけたら一斉メール。これでいいね。そうじゃ、探そうか。」

こうしてスマブラメンバーはカービイの搜索に入った。みんなカービイが犯人だと信じたくないのだ。

五武山町（架空の町）南部

ヨッシー「カービイのことだし、食べ物関連の場所でも探してみる？」

ディディーコング「まあそうでしょ。」

こうしてヨッシーとディディーコングはスーパーの食べ物コーナーに入って行った。

五武山町北部

ポポ「いないねカービィ」

ナナ「大丈夫かな？」

メタナイト「ここで悪いが俺はここで単独行動に入りたい。いいか？」

アイスクライマー「ちょっと、ダメだよ！子供を2人だけにする気！？」

Mrゲーム&ウオッチ「ナラバボクガツキソイマショウ。」

メタナイト「おう、ゲームウオッチ、ありがとう。」

ほとんどのメンバーは複数で行動しているが、メタナイトとこの男だけは単独行動のようだ。もう一人の男とは……

ピット「……。」

ピットだ。

そこにメタナイトが現れた。

メタナイト「おっ、ピットか、なんかお前に単独行動は似合わないな。」

ピット「単独行動だっていいじゃないか。」

メタナイト「カービイのことだから食べ物関連のところにいると思っただが、意外といないんだな・・・。」

ピット「僕もスーパーの試食コーナーとか探したけどいなかったよ。」

メタナイト「そんじゃな。」

ピット「早く見つけたいですね。」

そしてすぐにメタナイトとピットは別れた。そしてピットの近くに怪しい人影・・・。

???「すみません・・・。ピットさんですか・・・?」

ピット「そうですが・・・。何か?」

外辺久「僕は外辺久そとべひさしといいます。あなたはいずれ、とんでもなく不運なことが待つてますよ・・・。」

そう言つて外辺久と名乗る男は去つてつた。

ピット「あの何者だろう?年齢は高校生くらいだったけど・・・。」

ちなみにその頃ヨッシーとディディーは……

ヨッシー「カービイいないですね。」

スーパーの試食コーナーでカービイを探している途中、ディディーが何かに気づいたようだ。

ディディー「なんだこの紙？」「ここはすでに探した。いなかったよ。byピット」どうやらピットが先に探したようだ。」

ヨッシー「よく店員や他の客に撤去されずに残ってたね。」

けっこう現実的な発言をするヨッシー。

その頃五武山町東部では……

ネス「カービイを探すと言われても全く見当なんてつかないよ……」。

リュカ「本当にカービィは犯人なの？もし犯人だとして逃げたら疑われて当然だし違ったとしても同様だよ。」

サイキック少年コンビがカービィを探していた。そこに住民の会話が聞こえてきた。

住民1「あのピンク球どうしたんだろうね・・・。」

住民2「40分くらい前にスーパーの方へ走ってったっつーか転がってたけどね・・・。」

その会話を聞き、サイキック少年コンビはスーパーへ向かったのがあった。

スーパーにて、サイキックコンビはやっと到着した。しかし、そこにはヨッシーとデイディーの姿。

ヨッシー「カービィはここにはいなかったよ。」

ネス「いなかったのか・・・もうどこか行っちゃったんだね。」

リュカ「そんじゃ、また探しに行こうか。」

デイディー「そうするでしょう。」

こうしてまたヨッシー& amp; デイディーコンビとサイキックコンビに分かれて搜索を始めようとしたその時だった。

マリオからメールがきた。

『まだカービイが見つかっていないようなので、昼食は各自食べて、午後も搜索を続けてくれ。なお、五武山町の出口には全て警察がいるため、五武山町内だけの搜索でよい。 byマリオ』

ということなので、4人そろってスーパーで食料を買って食べた。

ネス「そういえばもう12時だね。カービイ見つかるかな？」

果たしてだろうか？

午後編に続く

2日目午前編（後書き）

一体カービィはどこにいるのだろうか？食いしん坊としてスーパーの試食コーナーに行ったがいない。どういうことだ！？

ちなみに外辺久はまたいずれ作る新作に登場するオリジナルキャラクターです。使いたければそのようにコメントしてください。

2日目後半（前書き）

短いね。

2日目後半

ヨッシー、ディディー、ネス、リユカの4人は昼食を買ってスーパーから出てきた。その時だった。

店員「君、そんなにたくさん試食を食べないで！」

4人はピンときた。その試食食い荒らしてるやつについて・・・。

カービィ「いっぱい食べるのだ〜。」

4人は無言でカービィを引き取って行った。

カービィが見つかったという情報を聞いて最初の広場に集まってきたスマブラメンバー。

カービィ「僕が殺人犯!？」

アイク「いや、まだ疑われている段階だ。」

ソニック「なんでいなくなったのか教えてくれないか？」

カービィ「だっておいしいにおいがしたんだもん。」

カービィ以外「は!？」

カービィ「警察の話聞いているのが暇でさ、そんなときおいしいにお

いがしたら僕だったら走って行っちゃうね。」

ヨッシー「それならなんで僕達がスーパー来た時にはいなかったの？1回出てもう1回入ったらいたのに。」

カービィ「それは僕が試食食べ過ぎてトイレ行ってた時の話かな？」

みんな言葉が出なかった。

スネーク「ところで、『犯人はすでに死んでいる』っていう紙どういう意味なのかな？」

マルス「まだ未解決のようだ。」

マリオ「明日はそれについて考えてみるか。」

待った！

誰かが叫んだ。

カービィ「ちょっと待ってよ！」

カービィだ。

メタナイト「どうしたんだカービィ。」

カービィ「まだ夕食食べてないじゃん！」

そういえば、の一言の後、みんなで仲良く夕食を食べました。

続く

意外と早い終了（前書き）

なんと今回が最終回。こんなこと、作者にも想像できなかった。

意外と早い終了

メタナイト「なあ、この小説のタイトルって『スマブラと5日間のサスペンス』だよな。」

作者「そうだけど?。」

メタナイト「実は俺、3日目にして犯人がわかってしまったんだ。」

作者「そりゃ困るな。5日間のサスペンスだもん。怒るよ。」

メタナイト「じゃあどうすればいいというのだ。」

作者「しょうがないなあ。じゃあそのまま5日目まで黙ってて。」

メタナイト「犯人をほったらかしにしておけというのか!。」

作者「拒否したら僕のペンで君が犯人ってことにするけどそれでもいいの?。」

メタナイト「賛成するしかないってことか。」

作者「そんなわけで、5日目まで黙っててね。」

3日目、と言いたところだが、何一つ進展しなかった。手がかりはあの『犯人はすでに死んでいる』と書かれたダイイングメッセージのみ。それ以外は何一つとして見つからなかった。そしていつの間にかに5日目を迎えていた。

メタナイト「ちょっといいだろうか。」

メタナイト以外「何？」

メタナイト「俺は犯人がわかってしまった。犯人は・・・。」

メタナイト以外「犯人は？」

メタナイト「・・・ピットだ。」

3年後

看守「ほらピット、出所だぞ。」

ピット「……………」

ピットは黙って刑務所を後にした。そこには迎えに来ているスマブラメンバーの姿があった。

ピット「みんな……。」

ピット以外「久しぶり！」

メタナイト「お前も含めてみんな何もなかったようで良かった。」

ピット「僕を牢屋に入れたのは君みたいなものだけだね。」

全員「あははははは……。」

いつもの仲の良いスマブラメンバーの姿がそこにはあった。

THE END

意外と早い終了（後書き）

この話は終わりですが、他の話も見てくださいと嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6236x/>

スマブラと5日間のサスペンス

2011年11月17日09時25分発行